

講座の目的

小学校図画工作・中学校・高等学校美術の鑑賞の指導について、講義、演習を通して美術教育における鑑賞の意義などを理解しながら、鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。

対象と定員

12名
(小・中・高12名・特支)

期 日

前期 平成31年8月21日(水)
後期 平成31年11月1日(金)
両日受講のこと

研修内容

○鑑賞教育の意義と課題
○鑑賞の指導の在り方
○鑑賞の評価の在り方 等

担当者からのメッセージ

作品から感じ取ったことをもとに自分の思いや考えを大切にしながら、自分なりの意味を発見し、対話を通して価値を共有するような、子どもたちの主体的な美術鑑賞が求められています。

前期は教育センターを会場に、武蔵野美術大学教授の 三澤一実 先生、福島県立美術館学芸員を講師に、講義・演習を通して鑑賞について考えます。

後期は福島県立美術館を会場に美術作品の鑑賞を楽しみながら、より実践的な演習を通して、子どもたちの鑑賞活動や指導方法のヒントを探ります。

